

# 那須烏山

— No.105 —

2014  
June

6

Public Relations Magazine  
of Nasukarasuyama City

そばまつり・鯉のぼりまつりに3万1千人…	2
第2回市議会臨時会……………	6
まちづくり団体支援事業報告……………	8
まちの話題……………	12
インフォメーション……………	14

市イメージキャラクター



やまどん ここなす姫 からすまる



田植えを終えた達成感(5月14日、烏山小の田植え体験) ※11ページに関連記事



そばまつり・鯉のぼりまつり合同開催

# 過去最高の3万1千人でにぎわう

八溝そば街道で知られる本市では、八溝のそばを全国的に発信し、地域を活性化させようと、「八溝そば街道そばまつり」が毎年開かれています。今年も、本市で例年開かれている「鯉のぼりまつり」のイベントが合同で開催され、県内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。今月号では、会場を新たに大桶運動公園に変更し、規模が大きくなり盛り上がりを見せた「そばまつり」と「鯉のぼりまつり」をご紹介します。



## 今年も高橋名人が やって来た!!

5月17(日)・18(日)の2日間、大桶運動公園で、第4回「八溝そば街道そばまつり(同実行委員会主催)」と、第7回「鯉のぼりまつり(那須烏山市まちづくり研究会主催)」のイベントが合同で開催され、過去最高の約3万1千人が来場しました。

開会式では、同実行委員長の棚橋誠一郎さんが、「八溝のそばをぜひ味わって欲しい」とあいさつ。続いて、大谷範雄市長をはじめ、関係者がお祝いの言葉を述べました。また、那須烏山市まちづくり研究会会長の大久保忠且さんも、「そばまつりと一緒に開催できたことは喜ばしい。2日間楽しめるイベントを企画したので楽しんでいって欲しい」とあいさつしました。

当日は、八溝地域のそば11店舗のほか、地域の食材を使ったご当地グルメ20店舗や軽トラ市も出店し、人気を集めました。なかでも、昨年引き続き出店した、広島県「達磨・雪花山房」の高橋邦弘名人の店は、列が途切れることなくにぎわい、早々に完売。名人のそばを食べるために県外から会場に前日入る熱狂的なファンもいました。

また、市内でそば職人を目指す棚橋由佳さんもそば打ちを披露。女性のそば職人は全国でも珍しく、棚橋さんがそばを打つ姿を一目見ようと周りに黒山の人だかりができていました。

一方、特設ステージでは、とちまるくんや、ここなす姫たちによる「とちまる体操」やこども常磐津、ザ・マーケッツによる演奏のほか、まちづくり研究会に所属する大学から、足利工業大学の全学応援団、国際医療福祉大学のダンス部がパフォーマンスを披露し、まつりに華を添えました。また、今年から新たに「素人そば打ち教室」も行われ、多



①



②



③



④

①「おいしい!」と笑顔あふれる。  
②ザ・マーケッツによるステージパフォーマンス。③広島県「達磨・雪花山房」の高橋邦弘名人がそばを打つ。④今年から始まった「素人そば打ち教室」。

## 会場を大桶運動公園へ： 八溝山系を望み「そば」堪能

「そばまつり」は、昨年まで山あけ会場周辺を会場としていました。しかし、来場者の増加による駐車スペース不足の問題などにより、今年から、大桶運動公園に会場を変更。新たな会場では、配水の問題が懸念されていましたが、解消し開催へこぎつけました。

また、会場を移したことで、約1000台の広大な駐車スペースが確保でき、駐車場の混雑が緩和されたことや八溝そばの産地である八溝山系を眺めながらそばを堪能できると、来場者からも好評でした。さらに、JR烏山線を利用する来場者に向けて烏山駅と会場を往復するシャトルバスも運行し、全便とも満席となる盛況ぶりでした。

## 学生が中心となって 鯉のぼりまつりを運営

本市の地域活性化に取り組み、那須烏山市まちづくり研究会では、4月26日(日)から5月18日(日)にかけて、「鯉のぼりまつり」を開きました。

期間中は、清水川せせらぎ公園と国見の棚田に市民から寄贈された鯉のぼりや、学童クラブに通う子どもたちがこれまでに制作した和紙の鯉のぼりなど約230匹が同研究会の学生などによって設置され、地域住民の目を楽し

## 来場者の声

○八溝のそばは、どの地域で食べるよりもおいしい。毎年、家族で来ますが、今年は会場も広くなり、駐車するのにとても便利でした。また来年も「そばまつり」に来たいです。

(茨城県 益子広子さん)

○初めて「そばまつり」に来ました。高橋名人のそばは、食べると口の中で香りが広がり、とてもおいしかったです。

(宇都宮市 三上絢子さん)

ませました。

そばまつりと合同で行われたイベントでは、和紙の鯉のぼり制作体験が開かれ、自分だけのオリジナルの鯉のぼりが作れると親子連れに大人気。途中には、福田製紙所の福田長弘さんによる和紙の説明もあり、興味深々に耳を傾ける子どもたちの姿がみられました。また、アトリエ NEVER TOLA(内田美季子代表)による紙芝居「人材育成の天才」江戸のイクメン」二宮金

を策定します

①農産物の軽トラ市が大盛況。②会場の清掃美化活動する鳥山高校の生徒。③足利工業大学全学応援団による迫力あるパフォーマンス。④僕も手伝う！（清水川せせらぎ公園）。⑤上手にできたよ！（和紙の鯉のぼり制作体験より）。



次郎」も披露され、子どもから大人まで楽しい時間を過ごしました。  
なお、イベント当日は、同研究会に所属する足利工業大学、国際医療福祉大学、白鷗大学、鳥山高校の学生・教職員48人と市民10人がボランティアで参加

し、会場の清掃美化活動などにも努めました。



芽生え始めた想い  
八溝そばを全国へ…

そば職人を目指す  
棚橋由佳さん(旭1丁目・27歳)

「最近、少しずつそば職人としての責任を自覚するようになってきました」と話すのは、今年のそばまつりで、そば打ちを披露した棚橋さん。多くの来場者が見守る中、2日間で約1000食分のそばを作りあげた。

そば職人の道に踏み出して約8ヶ月。以前は、舞台女優を夢見て上京し、東京の俳優座研究所に8年間通っていたが明確な目標がなかなか見つからず、そんな時に出会ったのが、故郷で盛り上がりを見せている“八溝そば街道”の取り組みだった。最初は、「何か変わるかもしれない」となんとなく始めたそば打ち。そば夢サロン梁山泊の広木克臣さんに弟子入り後はただがむしゃらに打ち込み、気付くと「この道を極めたい」と思うようになっていたという。

実家は、130年以上続く老舗の日本料理店。家業を手伝いつつ毎日3時間から5時間 にわたる修行を積み重ね、最近 は、県内の道の駅などで、少しずつ提供できるまでになった。

全国でも珍しい女性のそば職人。棚橋さんは、「女性らしさを生かしたそば、そして、食べた人が元気になるそばを作るのが目標」だという。また、生まれ育った那須烏山市の活性化のためにも、八溝そばを全国へ発信していきたいと力強く語った。

## 3年間の計画の見直し

平成12年に介護保険制度を創設以降、介護サービスの提供基盤も整備が進み、サービス利用者も年々増加し、「高齢者とその家族を支える制度」として介護保険は着実に浸透してきました。

本市においては、今年で終了する第5期介護保険事業計画(平成24年～26年度)を基本に第6期介護保険事業計画(平成27年～29年度)を策定します。同計画では、サービス給付実績や今後の認定者・高齢者数などの推計、施設入所の申込状況などを検討し、本市の介護保険料や各種サービス利用量を決定していきます。

今年度の第6期介護保険計画の策定にあたり、那須烏山市の介護保険制度の現状を皆さんにお知らせします。

## 高齢者と介護認定状況

65歳以上の人口は、8642人(平成26年3月末現在)。高齢化率は30.07%、3.3人に1人が65歳以上となっており県下で4番目に高い数値です。

また、市内の介護認定者数は1457人で、65歳以上の約6人に1人が介護認定を受けており、認定者の約88%の1283人が75歳

以上となっていることから、高齢になるほど日常生活で病気やケガ、事故等による何らかの支障が発生しやすくなるのが懸念されます。

## 介護サービス利用者と給付費

介護認定者1457人のうち60.6%の883人が在宅サービスを、4.0%の58人が地域密着型サービスを、また17.7%の258人が特別養護老人ホームなどの施設サービスを利用しています。これらのサービスの利用に必要な市の介護給付費の月額約1億7900万円(平成25年度決算見込)となっており、これを65歳以上1人当たりの利用金額に計算すると月額約2万7000円になります。

## 第5期の保険料基準額は月額4916円

第5期中の保険料は月額4916円で第4期中と比較すると、月額1408円の引き上げとなり、保険料は県内で佐野市、大田原市に次いで3番目に高い額となりました。

介護保険料を引き上げる背景には超高齢社会の更なる進展や介護認定者、施設入所者の増加が大きく影響します。第6期計画においても、給付と保険料のバランスを

考えた計画的な事業を計画・推進していきます。

## 介護保険施設の整備状況

様々な事情により、在宅での生活が困難な介護認定者に対して、施設介護サービスの基盤整備が必要となります。第5期事業計画では、高齢者が住み慣れた地域での生活が継続できるように地域密着型施設を主に整備しました。

## 第6期計画策定に向けて

今後、市介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定委員会を設置し策定を始めます。

高齢者の方々の尊厳・自立を支えるサービス提供の確保や、健康で生きがいのある生活支援を目指し、地域に根ざした安全・安心なまちづくりを進めていきます。

## 施設紹介

- ①特別養護老人ホーム てんまりの杜  
施設の所在…滝田  
事業者…社会福祉法人 敬愛会  
開所…平成26年2月
- ②特別養護老人ホーム 愛和苑(増床)  
施設の所在…三箇



③富士見屋



①てんまりの杜/④なごみ



⑤明和ふれあいガーデン



②愛和苑

- 事業者…社会福祉法人 正州会  
開所…平成26年5月1日
- ③グループホーム 富士見屋  
施設の所在…下川井  
事業者…特定非営利活動法人 いかんべ
- ④小規模多機能ホーム なごみ  
開所…平成26年4月  
施設の所在…滝田

- 事業者…社会福祉法人 敬愛会  
開所…平成26年2月
- ⑤介護付有料老人ホーム 明和ふれあいガーデン  
施設の所在…小木須  
事業者…株式会社DAIKAN  
開所…平成25年6月



## 新市議による初の議会

# 議長・副議長を選出

4月の市議会議員選挙によって誕生した18人の新市議による初の議会「平成26年第2回那須烏山市議会5月臨時会」が5月8日(木)に開かれ、新議長に佐藤昇市氏、副議長に渡辺健寿氏を選出しました。また、議会常任委員会など議会人事の選任が行われたほか、専決処分5件のうち3件が承認され、2件を報告しました。

なお、詳しくは、議会事務局 ☎0287-88-7114 までお問い合わせください。

### 各委員会の委員を選任

総務企画、文教福祉、経済建設の各常任委員会、議会広報、議会運営の各委員会の委員がそれぞれ選任されました。

そのほか、南那須地区広域行政事務組合議会議員が選出されました。各委員名は次のとおりです(◎は、委員長。○は、副委員長。なお、敬称は省略させていただきます)。

#### 【総務企画常任委員会】

◎久保居光一郎 ○田島信二  
望月千登勢 渋井由放  
渡辺健寿 高德正治

#### 【文教福祉常任委員会】

◎高徳正治

○平塚英教

#### 【議会運営委員会】

◎高徳正治

久保居光一郎

#### 【経済建設常任委員会】

◎渡辺健寿

○相馬正典

#### 【議会広報委員会】

◎川俣純子

○小堀道和

#### ◎沼田邦彦

矢板清枝

○滝口貴史

樋山隆四郎

中山五男

小森幸雄

#### 【南那須地区広域行政事務組合議会議員】

◎川俣純子

久保居光一郎

◎渡辺健寿

沼田邦彦

◎中山五男

樋山隆四郎

◎佐藤昇市

高田悦男

◎中山五男

平塚英教

◎小森幸雄

平塚英教



第8代副議長  
渡辺健寿

## 議長就任あいさつ

# 中立・公平の4文字を胸に円滑な議会を目指す

### 平成25年度予算を補正

一般会計の歳入・歳出を1億921万5千円増額し、総額121億7683万円となりました。主な内容は、歳入において地方交付税のうち特別交付税の額の確定により、市有施設整備基金費に1億9千万円、財政調整基金費に250万3千円を増額しました。

### 条例の一部改正

- ・ 地方税法等の一部改正に伴い、市税条例を一部改正しました。
- ・ 本市の機構改革による担当課などの変更に伴い、市文化財保護審議会設置及び運営条例を一部改正しました。

### 監査委員に渋井由放氏

2人の監査委員のうち、議会議員から選出される委員に渋井由放氏を選任

## 第7代議長

# 佐藤昇市



先の5月臨時会において、すべての議員のご推挙により議長の職に就任いたしました。

光栄であるとともに、議会を代表する議長としての重責を痛感しているところであります。

市議会は、市民から直接選ばれた議員で構成されています。議員各位がお互いの人格と名誉を尊重し、活発に議論を尽くして結論を

出す事を念頭に中立・公平の4文字を胸に円滑な議会活動に務めてまいります。

さて、当市は少子高齢化、財政問題や地域経済の低迷などさまざまな課題が山積しております。これらの多くは一朝一夕に解決できるものではありません。

市議会は、将来の那須烏山市が発展し住みよい街になるよう将来

を見据えて議論を尽くし施策をしっかりとまとめ上げ市長に提言できるよう尽力してまいります。

また、議会のホームページの充実、議員定数問題や議会基本条例の研究を進め、開かれた議会を目指してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## その他

損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分2件を報告しました。

し、同意されました。

## 公民館講座の合同開講式

# ものづくり・ひとづくりで心豊かに



市民合奏団「アンサンブルGEN宇都宮」によるミニコンサート。

市教育委員会では、5月12日(月)、烏山公民館で「公民館講座合同開講式」を開催し、公民館活動に興味を持つ市民など約40人が参加しました。

合同開講式は各種講座を市民に説明し、情報共有の場として開催したもので今年で2回目となりました。

当日は、各公民館長や指導員が、公民館の特色や講座の概要を説明。中には、毎年募集初日に定員に達してしまうほどの人気講座もあるよう

です。講師から歴史講座やものづくり講座など、多彩な内容が詳しく紹介されると、参加者からは、活動内容への質問などもあり、意見交換も充実しました。

また、式終了後には、市民合奏団「アンサンブルGEN宇都宮」によるミニコンサートが行われ、会場に響くクラシックのすばらしい生演奏に参加者はしばらく聴き入っていました。

## 消防・警察の連携強化 災害に備え水難救助訓練

南那須地区広域行政事務組合消防本部では、那須烏山及び那珂川警察署と合同で水難救助訓練を、5月28日(水)、野上舟戸地内の那珂川で行いました。

これは、梅雨や台風に伴う河川の増水など、出水期を迎えるにあたり、地域住民の安心・安全を守るため、迅速に救助活動を行えるよう、毎年この時期に開かれている訓練です。

当日は、消防や警察等の関係者63人が参加。消防・警察救助艇などを使った救助訓練のほか、救命索発射銃作動訓練も初めて行われました。見物に来ていた人々は、本番さながらの緊張感

ある訓練に目が釘付けでした。



救助艇による本番さながらの救助訓練。

# 那須烏山市 まちづくり団体支援事業報告

①神流会



②西川親睦会



③那須烏山市横枕青年団



④カッシーレ



⑤歌えバンバン



市では、5人以上で構成するボランティア団体やNPO法人等が、地域の資源を活用し、住みよい環境、活力ある地域社会づくりに新たに取り組む場合、「まちづくり団体支援事業」として、活動を支援しています。

これは、市民の連帯強化、地域振興を目的とする地域振興基金の運用益を活用し、行政と市民の協働によるまちづくりを進めるものです。支援の内容は、地域課題を解決するための事業に必要な経費の補助や、側面的な支援などです。

平成25年度に採択となった7団体の取り組みを紹介します。

## ■採択団体一覧

団体名・代表者	事業名・取組内容等
① 神流会 星 雅信代表	<b>江川を愛する会(I LOVE River)</b> 江川の環境美化やイベントを通して、地域の活性化や親睦、若手育成、江川に親しんでもらうことなどを目指した活動を実施しました。 【主な内容】鯉のぼりをあげる、イルミネーション実施、河川清掃・除草作業
② 西川親睦会 越雲 深雪代表	<b>舞踊でまちづくり事業</b> 舞踊を通じ、「子どもと大人のつながり」「古い生活の良さを知ってもらう」「ボランティア担い手の育成」を目的とした活動を実施しました。 【主な内容】チャリティー・山あげ祭・敬老会などへの参加、盆踊りなどの開催、老人ホーム訪問
③ 那須烏山市横枕青年団 生魚 貴宏代表	<b>地域住民との交流の場の提供まちづくり事業</b> イベントなどにより地域住民との交流の場を提供し、地元意識の向上や知名度アップ、若者の育成、環境美化などを図る活動を実施しました。 【主な内容】フリーマーケット、ほたる祭り、花火大会、焼き芋大会、環境美化活動
④ カッシーレ 小川 允士代表	<b>農業から地域を元気にプロジェクト</b> 出荷できない農産物を活用した料理「農家メシ」や特産品を開発し地域ブランド化を図り、さらに農場体験や市産農産物普及促進を推進する活動を実施しました。 【主な内容】特産品の開発(農家メシの開発)、農業体験の場としての空き家の整備、若者の就農及び育成支援
⑤ 歌えバンバン 川原 とも子代表	<b>市民に広げよう 歌声のWA♪事業</b> 合唱・歌を通して、市民の皆様、老若男女を元気にし、練習の場が憩いの場になるよう、そして、市が活気づくような活動を実施しました。 【主な内容】南那須地区音楽祭出場、ミニコンサートの開催、老人施設など慰問、クリスマス合唱会の開催、カラオケ大会開催
⑥ 二城の会 船山 栄一代表	<b>埋もれた地域おこし事業</b> 熊田地区の史跡の周辺整備や、遺跡の講座解説を行い、史跡を地域ブランドとなるような活動を実施しました。 【主な内容】熊田地区周辺の歴史講座、豚ノ遺跡報告、川井城に訪問記録用紙の設置と篠狩り作業の実施、史跡・遺跡への案内看板取り付けと進入路の草刈作業
⑦ 那須烏山市桜並木大作 戦実行委員会 小堀恵美子代表	<b>那須烏山市桜並木鉄道事業</b> 那須烏山市内の烏山線沿線に桜を植えアーケード化してさらに本市に大勢の観光客を呼び込めるような活動を実施しました。 【主な内容】桜の植樹、塗り絵コンテストの開催





瑞宝単光章を受章した須藤さん。

## 元南那須町消防団団長の須藤孝さん 叙勲で瑞宝単光章を受章

平成26年春の叙勲が、4月29日(火)に発表され、志鳥の須藤孝さんが瑞宝単光章を受章しました。

昭和45年に南那須村消防団に入団した須藤さん。34年間にわ

たり、同消防団の発展のために尽力されました。特に、消防機械器具及び施設の整備、各種教育訓練指導、団員への公務災害知識の拡充、防火思想の普及などに貢献。平成8年から16年にかけては、同消防団の団長や栃木県消防協会協議員、同協会監事なども歴任されました。

須藤さんは、「長く続けられたのも家族や職場の理解があったから。周りの人の支えがあったからやってこられたので感謝しています」と話していました。

⑥二城の会



⑦那須烏山市桜並木大作戦実行委員会



## 七合小 春の運動会

5月17日(土)、七合小学校では、多くの来賓や保護者、地域住民が見守る中、市内で最も早い運動会が開かれ、全児童が熱戦を繰り広げました。

今年のスローガンは、「勝利の道を切り開き、栄光の旗をつかみとれ」。徒競走や障害物競走、ダンスなど24種目が行われ、真剣に競技する子どもたちに会場からは熱い声援が送られました。



「任せた!」とバトンタッチ。



何に変身したのかな?

## 丸山眞一さん

## 「桜を見る会」に出席

中央2丁目の丸山眞一さんが、4月12日(土)、新宿御苑で開かれた「桜を見る会(内閣総理大臣主催)」に出席しました。

この会は、各大臣をはじめ衆参議員や著名人、前年の叙勲受章者など、各分野で功績のあった人が招待されるもの。丸山さんは、昨年4月に食の安全安心推進功労と社会教育推進功労で旭日双光章を受章したことで栃木県から推薦され招待されました。

当日は、全国各地から招待者約3000人が出席。会場には、ボタン桜や山桜が満開となり美しい景色の中、会が進められました。

丸山さんは、「昨年の叙勲や皇居での天皇拝謁、そして、今回の桜を見る会に



「桜を見る会」にご夫婦で参加した丸山さん。

招待していただいたことは、行政をはじめ関係団体のお力添えによるもの。感謝の気持ちでいっぱいです」と話していました。

# 山あげ祭の準備も終盤に

7月25日(金)から27日(日)まで開催される「山あげ祭」に向け、今年の当番町「日野町」の若衆が、着々と準備を進めています。

準備会場の烏章館では、同町の若衆を中心に3月下旬からほぼ毎日、「はりか山」作りなどを行っています。5月10日(土)と11日(日)には、日野町の地域住民約170人が準備に参加しました。5月26日(月)には、市内の伝統に触れてもらうと、みどり幼稚園の年長組の園児28人を招待。園児は、同町若衆に教えてもらい、慣れない手つきで「はけ」を使いながら「はりか山」に和紙を貼る作業を手伝いました。

本番に向けて黒須正明筆頭世話人は、「今以上に那須烏山市に観光客が来てもらえるような魅せられる祭にしたい」と話していました。

今年3月にユネスコ無形文化遺産の登録申請を無事に済せた烏山の山あげ行事。市内はもちろん全国からも注目を集めています。本番まであと少し；5月下旬からは、はりか山に絵が描かれ、準備もいよいよ終盤に差し掛かります。



上から、屋台の組み直しをする若衆。日野町の地域住民が協力して「はりか山」作り。園児たちが伝統に触れる。

## 市民ハイキング 埼玉県の宝登山を登山

毎年恒例となった市民ハイキング（スポーツ推進委員会主催）が、5月25日(日)に開かれ、市民68人が埼玉県長瀨町宝登山を登山し、さわやかな汗を流しました。

当日は、天候にも恵まれ、絶好のハイキング日和。標高497メートルある宝登山を約1時間かけて登山したほか、秩父三社のうちの二社で知られる宝登山神社への参拝や岩畳周辺を散策しました。

参加者は、景色や会話を楽しみ、日頃の疲れをリフレッシュできたようです。

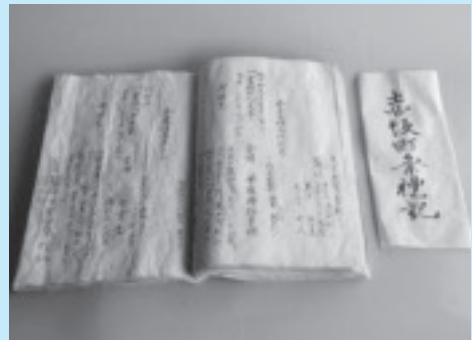


ハイキングを楽しむ参加者。

## シリーズ 市の文化財 第38回

市指定古文書

### あかさかちょうさいれいきろく 赤坂町祭礼記録(中央)



宝暦12年(1762)、溪梅軒蘇雲という人物が69歳の時に書いたものです。

元禄12年(1699)から宝暦12年の間に行われた32回の祭礼(山あげ行事)に奉納された芸題や、歴代烏山城主と祭礼との関わりなどが記されています。

赤坂町とは泉町の旧名称であり、筆者は若い頃から赤坂町で祭礼に深く関係していたと思われませんが、実際に祭礼に参加していた人物による記録は大変珍しく、山あげ行事の起源や江戸時代の祭礼の様子を知るうえで、大変貴重な資料となっています。

# 市内で農業体験が盛ん

## どろんこ田んぼ体験事業 古代米の種まき

七合会会長の木村保司さん(大桶)のほ場で、4月27日(日)、古代米の種まき体験が行われ、地域住民が参加しました。

七合公民館事業として始まった「どろんこ田んぼ体験事業」。七合会と大桶地域みどり保全会、木村義二会長の共催で毎年行われ、恒例の行事の一つとなっています。当日は、収穫にも影響する大事な種まき作業を七合会の有志が丁寧に指導。参加者は、苦戦しながらも30枚の苗床を完成させました。木村保司会長は、直接触れることで、米づくりの大切さを伝えることができた」と話していました。

今後、体験事業では、稲刈りや秋の収穫

感謝祭なども企画をしています。

## 烏山小5年生 米づくりの大変さ学ぶ



真剣に田植えに取り組む児童。

5月14日(水)、烏山小5年生の児童98人が神長の岡崎新一さんの水田で田植えに挑戦しました。

これは、総合的な学習の時間「米物語」の一環で、田植えを通して稲の育成や米作りの工夫、苦労などを体験しようとして、米物語神長協賛会(大野英夫会長)の会員に植え方を指導してもらい行われています。

当日は、約5アールの水田に約9000株の苗を植えました。ほとんどの児童が初めての田植えだったということもあり、泥に足をとられ悪戦苦闘する様子が見られました。途中には、バランスを崩し

て転んでしまう児童も…。泥だらけになりながらの田植えは楽しかったようで水田には笑い声が響きわたっていました。7月には育った稲の観察会、10月には稲刈り体験も行われる予定です。

## 伊勢神宮献穀米 「イセヒカリ」の田植え

志鳥の滝口良一さんの水田で、5月23日(金)、栃木県青年神職むすび会、滝口貴史会長が、「伊勢神宮」に献穀する米の苗を植えました。

この水田に献穀米の苗が植えられるのは、今回で13回目。県内では唯一、同会だけの取り組みです。当日は、同会員約20人の手により約2アールの水田に「イセヒカリ」の苗が丁寧に植えられました。今後は、10月中旬に献穀を予定しています。



「イセヒカリ」の苗を植える会員たち。



秋の収穫に向けてつくし幼稚園児がサツマイモの苗植え体験。

## 園児が サツマイモの苗植え

5月12日(月)、つくし幼稚園の年長組の園児42人が「サツマイモ苗定植体験」をしました。

これは、体験を通じて農業を身近に感じてもらうと、那須烏山市青少年クラブ協議会(船山瑛子代表が開いているもので、例年、同協議会会員の「大野博康さん(大桶)の畑に園児を招待しています。

当日は、土にかぶせてある黒いビニールに穴を開け、1本ずつ苗を丁寧に植えました。次に畑に来るのは10月。それまで同協議会に苗を大切に育ててもらいます。なお、19日(月)には、ここにこ保育園の園児も苗植えを体験しました。



会員に種のまき方を教わる子どもたち。



スマイル！（七合小運動会より）。

## まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課広報統計担当  
☎0287-83-1112

## 社会福祉法人みつわ会

# 10周年記念祝賀会

社会福祉法人みつわ会（小鍋毎美理事長）が10周年記念祝賀会を5月10日（土）に開催しました。

同会は、平成15年5月に設立。翌年には、月次地区に「知的障害者通所授産施設みつわ工房」を開設し、

12名の利用者とともにスタートしました。

現在は、野上の旧向田保育園を改修した作業場で家電の解体や、同作業場の一角で「カフェみつわ」をオープンするなど、多機能型事業として40人の利用者が地域で活躍しています。

当日の式典では、福祉の充実に尽力した役員・職員や長年作業に従事した利用者を称え、表彰式が行われました。また、職員・利用者と利用者の家族と一緒に楽しめるイベントを企画。やさそば、駄菓子などの模擬店やヨーヨー、輪投げコーナーなどを設けたり、ミニコンサートをしたりするなど、会場は和やかな雰囲気包まれていました。



笑い声が響きあう会場。

## 野上さぎフエス10周年イベント

# 野上さぎフエスを開催

子育て環境の改善などに取り組む、NPO法人野上さぎくらぶ（矢口和美代表）では、5月11日（日）、烏山体育館で設立10周年記念イベント



マジックショーに目が釘付けの子どもたち。

「野上さぎフエス」を開き、子どもからお年寄りまで約300人が訪れました。



射的ゲームを楽しむ。

会場では、ゲーチョキパーによる

「人形劇」やアトリエNEVER TOOLATEによる「二宮金次郎のおもしろ語り」、インストラクターの石川奈津美さんによる「リズム体操コーナー」、シルバード大学北校OBマジック部による「マジックショー」などの催しで来場者を楽しませました。また、烏山高校と国際医療福祉大学の生徒20人がボランティアで参加。お菓子のつかみ取りやバルーンアートなど様々なブースを設けました。昼食には、烏山婦人会による手作りカレーライスが振舞われ、来場者から「おいしい」と大人気でした。

10周年を迎え、矢口代表は、「これからも子どもたちを見守ると同時に、子育て環境の改善に力を入れていきたい」と話していました。

## チャリティー発表会

# 「桜まじり」と「あやめまじり」

唄や舞踊などの愛好会である、那須烏山市歌謡協会（水野信一会長）と烏山地区民俗文化奉仕協会（川俣伸会長）がチャリティー発表会を開きました。

毎年、恒例となったこの発表会。4月27日（日）には、南那須公民館で歌謡協会が「桜まじり」

りを開き、60組が参加しました。5月18日（日）には、烏山公民館で民俗文化奉仕協会が「あやめまじり」を開催し、115組が発表しました。

発表会では、市内の会員などが唄や舞踊、詩吟など日頃の練習の成果を披露し、多く

の来場者から喝采を浴びていました。会場には、手拍子や笑い声がいっまでも響きわたり、楽しい雰囲気包まれていました。

チャリティーで集まった収益金は、民謡協会が3万円、民俗文化奉仕協会が6万4千円

# 日頃の練習の成果を披露



秀久子会による発表。

那須烏山市文化協会(大森茂宏会長)では、5月16日(金)、烏山公民館で芸能発表会を開き、約50人の市民が舞踊や民謡などの発表を楽しみました。

発表会では、烏山紙すき唄保存会、秀久子会、日本民謡栄作会の中村正勇さんが日頃の練習の成果を披露。途中には、観客から手拍子が起こるなど盛り上がりを見せました。

# 親子でいちご狩り楽しむ!

子育て支援センターきらきらでは、5月19日(月)、ふじた体験むら観光いちご園で「いちご狩り」を行い、未就園児の親子23人が参加しました。

いちごの甘い香りが漂うビニールハウスの中に入ると、子どもたちはおおはしゃぎ。親子で仲良くいちご狩りを楽しみました。



甘いいちごにかぶりつき。

# 帰農志塾「新緑の集い」生産者と消費者が交流深める

帰農志塾(戸松正行塾長)では、4月27日(日)、同塾を会場に「新緑の集い」を開き、県内外から同塾会員などの親子連れ約120人が訪れました。

これは、生産者と消費者との交流を深めようと同塾を設立した38年前から例年開催しているものです。年々参加者が増え、人気のイベントとなっています。

当日は、同塾の見学や参加者全員で敷地に生えている山菜を収穫し、それを天ぷらに調理するなど様々な体験を通して塾生と参加者



上:練習の成果を披露(桜まつり)。下:美しい舞い(あやめまつり)。

でした。なお、この収益金は、全て社会福祉協議会に寄付され、福祉の場で活用されることとなります。

が交流しました。そのほか、塾生による野菜を使った手作りの料理が振舞われ、参加者はそのおいしさに舌鼓を打っていました。特に、畑で採れた小麦を使用した「うどん」はコシがあり、小麦の味がしつかりとっていると好評でした。



手作りの料理を囲み交流を深める参加者。

## おめでた

赤ちゃん名 (保護者) 住所  
 小池 春翔 (知道・穂香福岡)  
 手塚 茜音 (大輔・さなえ) 上川井  
 大橋 潤 (誠・智子宮原)  
 檀 翔音 (充・香里鴻野山)  
 田代 結梨衣 (晋・恵子滝田)  
 藤田 蒼永 (善永・真弓鴻野山)  
 松本 翔心希 (龍・智香志鳥)  
 齊藤 果歩 (貴広・智子城東)  
 橋本 綾都 (智史・真理南大和久)  
 照内 陸斗 (弘樹・榮里三箇)  
 星野 琥太郎 (裕・弘子野上)  
 山本 梨奈 (良夫・美紀森田)  
 稲垣 颯真 (竜太・婁子志鳥)

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

## スポーツの結果

● 関東・東日本ソフトテニス選手権大会  
 会県予選会 (4月6日付) 栃木県総合運動公園  
 シニア女子65▽第3位: 澤村絹代 (月次、杉田瞭子(宇都宮市)ペア)  
 ● 第21回関東オープンソフトテニス大会  
 会 (4月20日付) 埼玉県狭山市智光山公園  
 シニア男子70▽優勝: 澤村祐毅 月次、藤沼宣弘(宇都宮市)ペア  
 ● 第9回那須烏山市弓道大会 (4月29日付) 烏山弓道場  
 近的一般男子の部▽優勝: 松田猛

▽準優勝: 平山智明  
 起男  
 近的一般女子の部▽優勝: 星真喜子  
 君子  
 準優勝: 秋元武子  
 ▽第3位: 高梨

近的生徒の部▽優勝: 池田尚樹(烏山高)  
 高  
 準優勝: 齋藤直人(烏山高)  
 ▽第3位: 磯野将樹(烏山高)

大乱点▽優勝: 平山智明  
 準優勝: 高梨君子  
 ▽第3位: 石川佳輝(烏山高)

ふるさと応援寄付金  
 匿名希望者様(富山県富山市)から5万円が本市に寄付されました。

ご寄付ありがとうございます

## 烏山駅前 GW観光客を歓迎



市と観光協会では、観光客を歓迎しようとゴールデンウィーク中の5月3日(土)から6日(水)までJR烏山駅舎前に臨時観光案内所を設置しました。  
 案内所では、観光パンフレットの配布や観光案内など本市を訪れた人々をおもてなしました。そのほか、農産物の軽トラ市や観光土産品の物販なども行われ、にぎわいをみせました。



昭和58年度烏山小学校卒業30周年同窓会様から10160円が本市に寄付されました。

## 広告掲載募集中

■掲載基準  
 位置: 各ページの最下段(表紙除く)  
 サイズ: 縦4.7cm×横8.4cm  
 料金: 単色 1回5千円  
 カラー1回1万円(裏表紙)  
 申込: 掲載希望の前月10日まで  
 詳しくは、総合政策課広報統計担当(☎0287-83-1112)までお問い合わせください。  
 なお、「広報お知らせ版」への広告掲載や、市公式ホームページへのバナー広告掲載も同時に募集しています。

まかせて安心!!  
 三井住友海上代理店  
**(有)しおや保険事務所**  
 ◇損害保険: 自動車、自賠責、火災(地震)、個人年金  
 ◇生命保険: 新医療A、先進医療、収入保障、終身介護  
 ■問合 ☎321-0526 那須烏山市田野倉383  
 TEL0287-88-9870 FAX0287-88-0234

# 烏山庁舎で ぬりえの作品展



市桜並木鉄道大作戦実行委員会(小堀恵美子代表)では、5月20日(火)から27日(火)まで、「烏山線桜並木鉄道ぬりえコンテスト」の作品展を烏山庁舎で開きました。これは、市内の小学生を中心に、烏山線を広く知ってもらうために行われたコンテストです。展示期間中は、多くの来庁者が足を止め子どもたちの作品に見入っていました。

## 市の人口

2014.5.1現在  
( )対前月比

人口 27,517(-58)

男 13,562 女 13,955

出生 7 死亡 27

転入 78 転出 116

世帯数 9,589

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

## 編集後記

○ご報告があります！「広報那須烏山10月号」の表紙写真が全国広報コンクールの広報写真の部で栃木県審査を通過し、全国大会に推薦されました！しかし、全国大会では、残念ながら結果を残せず…。次こそは、良い結果をご報告できるように腕を磨いておきたいと思います！

○ところで、暑い日が続いていますね！今年は、エルニーニョ現象の影響で冷夏だと聞きますが、きっと梅雨時期は湿気でジメジメでしょう…。

○梅雨といえば！先日、友人と「そろそろカメラを濡らさないように対策しないと！」という会話をしていました。すると友人は「うちでは、テレビのリモコンに防水対策でラップを巻いてるよ！」と…。リモコンにラップ……？

○どうやら「よく醤油をこぼすから」らしい。しょうゆうことか…。

# 新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204  
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566  
 ★図書館HPから新着図書が検索できます。★  
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

- 一般図書●
  - 『誰とでもラクに話せるコツ101』 今井 登茂子
  - 『韓国「反日謀略」の罟』 拳骨 拓
  - 『血圧を下げる特効法101』渡辺 尚彦
  - 『廉恥』 今野 敏
  - 『忍者月輪』 津本 陽
  - 『名探偵登場!』 筒井 康隆
  - 『王朝小遊記』 諸田 玲子
  - 『女盛りは意地悪盛り』 内館 牧子
  - 『ムーミンと森のピクニック』 パイヴィ アレニウス
  - 『はずかしがりやのおつきさん』 スズキ コージ
  - 『がっこうにヤギがきた!』長谷川 知子
  - 『ピヨピヨはじめてのキャンプ』 工藤 ノリコ
- DVD●
  - 『舟を編む』『真夏の方程式』
  - 『魔法の国のプリンセス』
  - 『天使の分け前』
  - 『忍風戦隊ハリケンジャー』
  - 『チップとデール リスの山小屋合戦』
  - 『モンスターズユニバーシティ』
  - 『キャスパーゆかいなオバケのおともだち!』
  - 『ちびまる子ちゃん 虫歯パニックの巻』
  - 『日本の昔ばなしふるさと再生 笠地蔵ほか』
- 児童図書●
  - 『よかたい先生』 三枝 三七子
  - 『どこかいきのバス』 井上 よう子
  - 『そこから逃げだす魔法のことば』岡田淳
  - 『ドラゴンとふたりのお姫さま』 名木田 恵子
  - 『時をつなぐおもちゃの犬』 マイケル モーパージュ

## 俳句

齋藤 穂選

- 山笑ふ野っへにひらくにぎり飯 水井 陽子(南)
- 春惜しむ肥料袋に腰掛けて 荒井 浜子(中央)
- 鳩時計こつくり鳴きて桜冷 森林 富喜(小木須)
- 痛がりし腰骨拾ふ四月冬 安藤 セイ(中央)
- 不況風ふどころだけが気にかかり 川俣登志子(旭)
- 足腰の痺れに今日も耐えている 宮嶋 トキ(金井)
- 健康の証し鍛えた足と腰 羽石 妙子(向田)
- 自慢げに薄いた話の二つ三つ 石川 義郎(興野)

## 短歌

福澤 悦子選

毎月10日までに、総合政策課広報統計担当 ☎321-10692 那須烏山市中央1丁目1番1号 まで、郵送で作品をご応募ください。

- さくら咲く春日に総出で種をまきみ のりの秋への農が始まる 田島 静子(中山)
- 今日の日を明日へとつなぐ作始め三 月七日野菜五種蒔く 水上キヨ子(志鳥)
- 我が子にはままならざりし親の愛孫 やひ孫に重ねてそそぐ 鈴木 豊(谷浅見)
- 吾が終の日もかくありたけれ 須藤 ヤス(志鳥)



## 月次加茂神社で

# 梵天奉納



梵天を打ち鳴らす。

五穀豊穡と雷神信仰で知られている月次の加茂神社の例大祭「梵天奉納」が5月18日(日)に開かれました。

当日は、大勢の見物客が集まる中、育成会や地域の商業団体、農業団体など13団体が参加しました。

社殿では、熊田の太々神楽保存会が巫女舞を奉納したほか、那須烏山警察署田野倉駐在所の大谷義貴さんによる居合切りの披露や栃木県住みます芸人上原チヨーが登場し、会場をわかせました。その後には、まきもちが行われ、境内にはたくさんの方が押し寄せました。

した。法被姿の参加者は、根ごと掘り起こした約10メートルの盃宗竹に縄が結びつけてある梵天を担ぎ、矢崎部品(株)のグラウンドを出発。約1.5kmを練り歩き、加茂神社の鳥居をくぐったところで梵天を勢いよく地面に叩きつけた後、約300mある参道を一気に駆け上がり奉納しました。



大谷義貴さんによる迫力満点の居合切り。

## 第2回 どろんこピック 横枕の水田でどろんこまみれ!!

横枕青年団(生魚貴宏団長)では、5月3日(日)、横枕で「どろんこピック」を開き、市内外から訪れた約500人がゴールデンウィークの1日を満喫しました。

今年で2回目となるこのイベントは、市内外の多くの人に横枕地域の自然の素晴らしさを味わってもらい、地域活性化に生かそうと地域の若者たちが開いたものです。

当日は、午前10時に公民館跡地を会場にフリーマーケットがオープン。同青年団や地元自治会により「やきそば」や「カキ氷」などが販売され、大勢の人でにぎわいました。隣接する水田では、「どろんこ障害走」や「自転車一本橋渡り」、「チーム対抗どろんこドッジボール」の3つの競技を参加者は泥ま



②



①



③

①どろんこ障害走、②自転車一本橋渡り、③チーム対抗どろんこドッジボール。

### 有料広告

**地域密着情報紙 アドペッパー**

発行部数 **30,000部** 掲載料金 **1冊8,000円~**

那須烏山市 那須町 那須郡 那須野上町 那須北町 那須南町 那須中央町 那須西町 那須東町 那須北町 那須南町 那須中央町 那須西町 那須東町

**株式会社アド・ワークス** HPをケータイで見える

那須烏山市野上1162(寺澤太鼓店前)

**☎0120-03-8633** アドワークス 那須 株式会社

みれになりながら楽しみました。また、同青年団と栃木県住みます芸人の上原チヨーによる「トゥー トゥー体操横枕ver.」が披露され、会場を楽せました。

親子で訪れた二藤部彰子さん(中央2丁目)は、「子どもたちが泥だらけになりながらも楽しんでいたので連れて来て良かった。また来年も参加したい」と笑顔で話していました。